

平成31年2月22日
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
ガラスびん事業部

ガラスびん受払い月報の報告について

1. 月報報告対象事業者

「その他の原材料」を生産する全ての事業者です。該当事業者の方には、2月下旬に、REINSお知らせメールで、1年分の記入用エクセルファイル（「ガラスびん受払い月報書類書式」）を添付・送付します。ダウンロードしたエクセルファイルに報告データを入力し、REINSにて報告（アップロード）ください。

2. 月報の報告形式と報告方法

(1) 報告形式

未処理ガラスびんの受払い月報（1/3）と再商品化製品の受払い月報（2/3）および自社購入または特定再商品化製品利用事業者の受払い月報（3/3）が一つのワークシートの表となります。月ごとのワークシートで平成31年度全体のファイルとなります。

(2) 報告内容（以下の2種類です）

① 自社→他社

：通常の販売形式（1/3・2/3）

② 自社→自社（または特定再商品化製品利用事業者）→他社

：自社販売を経てから他社に最終製品販売。（1/3・2/3・3/3）

3. データ入力要領

(1) ファイルを開いたときに「マクロを有効にする」を選択ください。

(2) 年度初めの4月度分の報告時には、ワークシート「初期設定」で事業者コードをご入力ください。再生処理事業者名が表示されます。

また、利用事業者への受払い区分を入力し、利用事業者名をご入力ください。名称は、登録申請時の引き取り同意書の様式3-2に記載された事業者名をご入力ください。

例：〇〇株式会社、有限会社□□ 等

(3) 4月分の報告（5月8日期限）では、平成30年度の契約事業者の方は、以下の項目について、必ずご入力ください。

① 3月末の市町村からの引き取り（容リ協会分のみ）の未処理在庫量(kg)。(1/3)

② 3月末の（容リ協会分のみを原料とする）製品在庫量(kg)。(2/3)

③ 3月末の（容リ協会分のみを原料とする）実質製品在庫量(kg)。(3/3)

(4) 毎月1日から月末までのガラスびんまたは再商品化製品の受払い量を発生の都度、入力します。在庫量や合計値等の値は計算式を組み込まれています。

(5) 投入量、生産量、販売量は平成30年度分、平成31年度分の両方を同一のワークシートに区別せずにご入力ください。（実際の販売は平成30年度分から販売し、REINSでの報告も平成30年度分在庫から販売を行ってください。）

(6) 記入単位は「kg」で、引取量の色別、再商品化量の用途別の区別は必要ありません。

(7) 受払い月報の様式のダウンロードの方法と入力済みの受払い月報のアップロードの方法は「平成31年度再商品化業務に係るオンライン操作マニュアル(ガラスびん)」をご参照ください。

(8) 引取、製造、販売が無い場合も、必ず、期限内にエクセルファイルをアップロードください。

4. 受払い月報の加工投入量、製品生産量について

日々の加工投入量、製品生産量、販売量は実測値をご報告ください。

事情により日々の実測値が計量できない場合は、例外的に計算値での報告を認める場合がありますが、その理由および実測値の計算根拠をご報告ください。計算根拠の報告は4月度の受払い月報の提出の時に、受払い月報の「受払い月報初期設定シート」の下部にご入力ください。

受払い月報の(2/3)の製品販売量合計と REINS 販売実績の数量が一致することをご確認ください。

4月から6月までは前年度の繰越在庫を優先し、加工投入を行ってください。製品販売も同様となります。

5. 郵送する引取り伝票等の単位が重量（k g）でなくm³等の時は、重量への換算式を受払い月報の「受払い月報初期設定シート」の下部にご入力ください。

6. 報告期限

原則毎月5日（月別の期限は資料5および8をご参照ください）

7. 提出書類

①受払い月報

②再商品化製品受領書（原本）

③引取り伝票ないし、受領書の写し

書類の提出期限は REINS のお知らせから毎月25日にお知らせいたします。

※なお、協会が必要と判断した場合は、追加で個別に上記以外の書類、資料の提出をお願いする場合があります。

8. メール報告または「受領書」の写しが提出されない場合

受払い月報または利用事業者の「受領書」が期限までに提出されない場合、または内容が不適切な場合は、当月の支払いが出来なくなります。十分にご注意ください。

9. 月報作成時の基本的考え方

- ・処理後のカレットの販売先形態により、提出書類と異なります。

製造、販売形態	用途	提出書類
<p>1. 再生処理事業者が処理後のカレットを原料として、第三者の再商品化製品利用事業者へ販売した場合。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">再生処理事業 者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">第三者の利 用事業者</div> </div> <p>(引取同意書)</p>	<p>ガラス短繊維 コンクリート 二次製品、 発泡骨材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受払い月報 (1/3)、(2/3) を入力し、REINS で提出する。 ・ 第三者の利用事業者の「引取り伝票・受領書」の写しを郵送する。 (* 1) ・ (3/3) の記入は不要。
<p>2. 再生処理事業者が処理後のカレットを原料として自ら再商品化製品利用事業者として最終製品を製造し、引取同意書が無い第三者に販売している場合。 または、特定再商品化製品利用事業者へ販売した後、第三者に最終販売している場合。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">再生処 理事業 者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">自社が再商品化 製品利用事業者 または 特定再商品化製 品利用事業者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">第三者 の再商 品化製 品利用 事業者 (* 2)</div> </div> <p>(引取同意書) (最終製品製造) (様式 3-2 の付属書)</p>	<p>コンクリート 二次製品、 骨材、 合材、 ガラス砂、 発泡骨材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受払い月報 (1/3)、(2/3)、(3/3) を入力し、REINS で提出する。 ・ 第三者の利用事業者の「引取り伝票・受領書」の写しを郵送する。 (* 1)

注 (* 1) ①引取伝票 (販売先の受領伝票)、受領書には、販売先の受領印または担当者サインのあるものをコピーし、ご提出ください。

②A 4 版サイズより小さい伝票のコピーは、数枚まとめて A 4 用紙にコピーし、できるだけ A 4 サイズにしたうえで、ご提出ください。

※宅配便の受取伝票は受領伝票として認めません。

(* 2) ①第三者の利用事業者は登録申請時の引き取り同意書の「様式 3-2 の付属書」に記載された事業者です。平成 31 年度中に、新たな販売先に販売するときは、速やかに「様式 3-2 の付属書」を REINS で入力・修正して、印刷・ご提出ください。

②自社または、特定再商品化製品利用事業者で再商品化製品を利用する場合は必ず利用前に協会へご連絡ください。

●受払い月報初期設定シート

I. 右欄に事業者コードを入力してください

--

事業者名： I. に正しいコードを入力してください

--

ご担当者名： 容器 太郎

--

ご連絡先（電話番号）： 01-2345-6789

--

ご担当者名、ご連絡先は、本シートを実際にご入力、ご報告するかとなります。

II. 利用事業者への受払い区分を入力してください（※）

1：自社→他社 2：自社→自社

I. に正しいコードを入力してください

※正しい事業者コードを入力すると
自動で設定されます。

受払い区分が違う場合は手入力で設定してください。

※1：自社→他社の場合は、自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報（3/3）の記入は不要です。

自社購入または特定再商品化製品利用事業者の受払い（自社→自社）が有る場合は以下に特定再商品化製品利用事業者名を入力してください。複数社ある場合は同一セルに併記してください。

特定再商品化製品利用事業者名：

--

●単位換算について

郵送する引取伝票の単位が重量（kg）でない場合は、下記に換算式を記入してください。

例：1 m³=1,500kg、一袋20リットル=15kg

1 m ³ =1500 kg

●加工投入量等について

日々の加工投入量、製品生産量、販売量は、実測値を記入してください。

事情により日々の実測値が計量できない場合は、例外的に計算値で記入も認める場合がありますが、

下記に①実測できない理由と②計算値の計算根拠を記入してください。

枠内に書ききれない場合は、枠の下に記入してください。

ガラスびん受払い月報

※在庫量がマイナスになると、セルが赤くなります。在庫量がマイナスにならないように修正してください。

見本

資料6-5分 報告

事業者名:

Aガラスリサイクル

特定再商品化製品
利用事業者名:

B株式会社

日	未処理ガラスびんの受払い月報(1/3)				再商品化製品の受払い月報(2/3)						自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報(3/3)			
	市町村からの引取量	加工投入量	未処理在庫量(本年度)	未処理在庫量(前年度)	製品生産量	稼働時間	製品販売量 自社と他社		製品在庫量(本年度)	製品在庫量(前年度)	製品購入量	製品最終販売		実質製品在庫量
	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(h)	販売先名	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	販売先名	計(kg)	計(kg)
前月末残				20,000						40,000				50,000
1	34,000	5,000	34,000	15,000	4,800	6.50	B株式会社	4,800	0	40000	4,800			54,800
2		5,000	34,000	10,000	4,820	6.50	B株式会社	4,820	0	40000	4,820			59,620
3		5,000	34,000	5,000	4,460	6.50	B株式会社	4,460	0	40000	4,460	D建設株式会社	25,000	39,080
4		5,000	34,000	0	4,520	6.50	B株式会社	4,520	0	40000	4,520			43,600
5		4,000	30,000	0	3,900	6.00	B株式会社	3,900	3,900	36100	3,900			47,500
6			30,000	0					3,900	36100				47,500
7			30,000	0					3,900	36100				47,500
8			30,000	0					3,900	36100				47,500
9			30,000	0					3,900	36100				47,500
10		5,000	25,000	0	4,800	6.50	B株式会社	4,800	8,700	31300	4,800			52,300
11		5,000	20,000	0	4,850	7.00	B株式会社	4,850	13,550	26450	4,850	ホームセンターE	8,000	49,150
12	12,000	5,000	27,000	0	4,860	7.00	B株式会社	4,860	18,410	21590	4,860			54,010
13			27,000	0					18,410	21590				54,010
14			27,000	0					18,410	21590				54,010
15		5,000	22,000	0	4,890	7.00	B株式会社	4,890	23,300	16700	4,890			58,900
16	15,000	5,000	32,000	0	4,900	7.00	B株式会社	4,900	28,200	11800	4,900			63,800
17			32,000	0					28,200	11800				63,800
18			32,000	0					28,200	11800				63,800
19			32,000	0					28,200	11800				63,800
20			32,000	0					28,200	11800				63,800
21			32,000	0					28,200	11800				63,800
22			32,000	0					28,200	11800				63,800
23			32,000	0					28,200	11800				63,800
24		5,000	27,000	0	4,900	7.00	株式会社C工業	4,900	33,100	6900	4,900	F道路有限公司	30,000	38,700
25		5,000	22,000	0	4,860	7.00	株式会社C工業	5,000	37,960	1900	5,000			43,700
26		4,500	17,500	0	4,230	6.20	株式会社C工業	4,500	39,590	0	4,500			48,200
27		4,000	13,500	0	3,900	5.40	株式会社C工業	5,000	38,490	0	5,000			53,200
28			13,500	0					38,490	0				53,200
29			13,500	0					38,490	0				53,200
30	25,000	5,000	33,500	0	4,800	6.50	株式会社C工業	8,000	35,290	0	8,000			61,200
合計	86,000	72,500			69,490	98.60		74,200			74,200		63,000	
	↑※1				再商品化率	95.85%		↑※2						

資料6-5

- 市町村からの引取量の合計(※1)は、REINSの実績報告の、当月引取量の合計と必ず合致させてください。
- 加工投入量は一般廃棄物処理施設設置許可量(日量)を超えないよう留意してください。
- 再商品化率は極力、実測値にてご報告願います。
- 再商品化製品の受払い月報(2/3)の製品販売量合計(※2)は、REINSの実績報告の月間販売量合計と必ず合致させてください。
- 前年度繰越未処理在庫と製品在庫がある場合は4月から6月までは優先して前年度分より製品化、販売してください。前年度在庫が販売され次第、本年度在庫を販売してください。
- 稼働時間は加工投入から生産に要した時間を入力してください。

ガラスびん受払い月報

※在庫量がマイナスになると、セルが赤くなります。在庫量がマイナスにならないように修正してください。

見本

資料6-6分 報告

事業者名: Aガラスリサイクル

特定再商品化製品
利用事業者名:

B株式会社

日	未処理ガラスびんの受払い月報(1/3)			再商品化製品の受払い月報(2/3)					自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報(3/3)			
	市町村からの引取量	加工投入量	未処理在庫量	製品生産量	稼働時間	製品販売量 自社と他社		製品在庫量	製品購入量	製品最終販売		実質製品在庫量
	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(h)	販売先名	計(kg)	計(kg)	計(kg)	販売先名	計(kg)	計(kg)
前月末残			33,500					35,290				61,200
1			33,500					35,290				61,200
2	25,000	5,000	53,500	4,900	7.00			40,190				61,200
3		4,500	49,000	4,400	6.00			44,590				61,200
4		5,000	44,000	4,690	7.00			49,280				61,200
5		5,000	39,000	4,890	7.00			54,170		D建設株式会社	15,500	45,700
6			39,000					54,170				45,700
7		5,000	34,000	4,770	7.00			58,940				45,700
8		5,000	29,000	4,850	6.50			63,790				45,700
9		5,000	24,000	4,860	6.50	B株式会社	60,000	8,650	60,000			105,700
10			24,000					8,650		D建設株式会社	25,000	80,700
11			24,000					8,650				80,700
12			24,000					8,650				80,700
13		5,000	19,000	4,930	7.00			13,580				80,700
14		5,000	14,000	4,900	6.30			18,480				80,700
15		5,000	9,000	4,980	6.30			23,460				80,700
16		5,000	4,000	4,750	7.00			28,210				80,700
17	9,000	3,000	10,000	2,900	4.30			31,110				80,700
18			10,000					31,110				80,700
19		4,500	5,500	4,400	5.30			35,510				80,700
20		5,000	500	4,630	6.30	B株式会社	15,000	25,140	15,000			95,700
21			500					25,140				95,700
22			500					25,140				95,700
23			500					25,140		G商華株式会社	50,000	45,700
24	45,000	5,000	40,500	4,800	6.30			29,940				45,700
25		5,000	35,500	4,900	6.30			34,840				45,700
26		4,000	31,500	3,850	5.00			38,690				45,700
27		2,000	29,500	1,960	4.00	株式会社C工業	25,000	15,650	25,000			70,700
28			29,500					15,650		H設備有限会社	40,000	30,700
29		5,000	24,500	4,950	6.30			20,600				30,700
30		5,000	19,500	4,900	6.30			25,500				30,700
31		4,000	15,500	3,900	5.00			29,400				30,700
合計	79,000	97,000		94,110	128.70		100,000		100,000		130,500	

↑※1

再商品化率 97.02%

↑※2

- 市町村からの引取量の合計(※1)は、REINSの実績報告の、当月引取量の合計と必ず合致させてください。
- 加工投入量は一般廃棄物処理施設設置許可量(日量)を超えないよう留意してください。
- 再商品化率は極力、実測値にてご報告願います。
- 再商品化製品の受払い月報(2/3)の製品販売量合計(※2)は、REINSの実績報告の月間販売量合計と必ず合致させてください。
- 稼働時間は加工投入から生産に要した時間を入力してください。

資料6-6